

おいしい水に関する 水質の状況について



水質センター

1

はじめに

水質センターでは、平成18年度に設定された「おいしい水」に関する水質目標に関し達成状況を把握するとともに、今後目標設定すべき項目とされているトリクロロミンについても調査を進めて参りました。

本日はこれまでの調査結果と今後の方向性について報告します。

2

おいしい水づくり計画の水質目標と H20年度達成状況(速報値)

観点	目標項目	目標値	達成状況 H19年度	達成状況 H20年度 (H21年1月現在)
おい 及 び 味	残留塩素	0.4mg/L以下 0.1mg/L以上	0.8mg/L	0.8mg/L
	臭気強度(TON)	1	100%	100%
	かび臭 2-MIB ジオキサシン	定量下限値 (1ng/L)以下	92%	91%
			100%	100%
外 観	有機物(TOC)	1.0mg/L以下	92%	89%
	色度	1度以下	100%	99%
安心	濁度	0.1度以下	100%	100%
	総トリハロメタン	0.03mg/L以下	68%	71%
におい	トリクロロミン	カルキ臭を感じない値以下	-	-

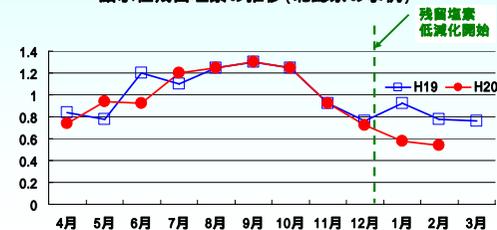
3

残留塩素低減の事例

これまでの取り組み

- 福増浄水場管内(H20.1~)
- 北総浄水場及び成田給水場管内(H20.12~1月)
- 市原分場及び姉崎分場管内(H21.1~2月)
- 柏井浄水場管内(H21.2~3月)

給水栓残留塩素の推移(北総系の事例)



4

トリクロロミンに関する調査

浄水場におけるトリクロロミン低減方法の検討

実施浄水場
栗山浄水場, 柏井浄水場(西側), 北総浄水場

給水栓におけるトリクロロミン濃度

5

浄水場におけるトリクロロミン低減方法の検討

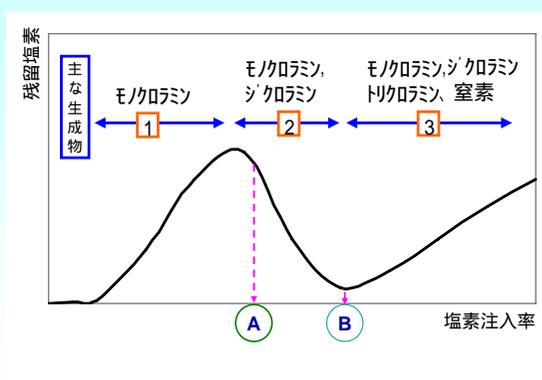
通常処理浄水場での弱前塩素処理
(主な目的: トリハロメタンの低減)

前塩素注入率の調整がトリクロロミン低減に有効

実施による適正な塩素注入の調査

6

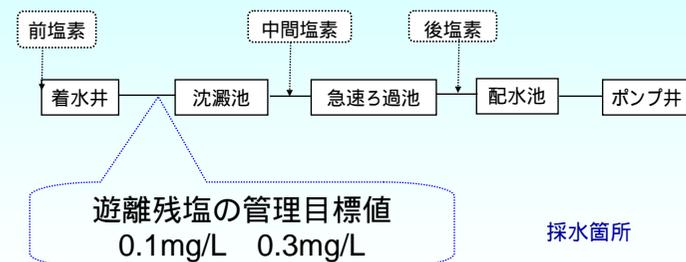
塩素注入に関する調査



7

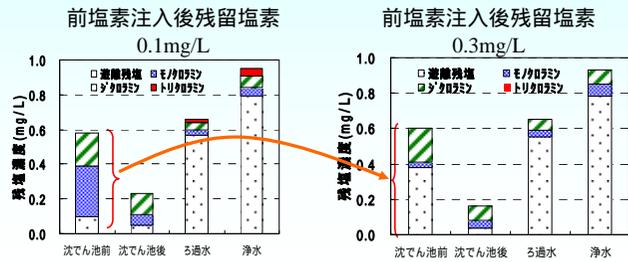
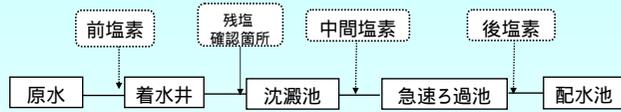
調査事例報告 (北総浄水場)

北総浄水場の浄水処理フローと前塩素管理



8

調査事例報告 (北総浄水場)



9

調査事例報告 (柏井浄水場)

柏井浄水場の浄水処理フローと前塩素管理



遊離残塩の管理目標値
0.3 ~ 0.4mg/L 0.6 ~ 0.7mg/L

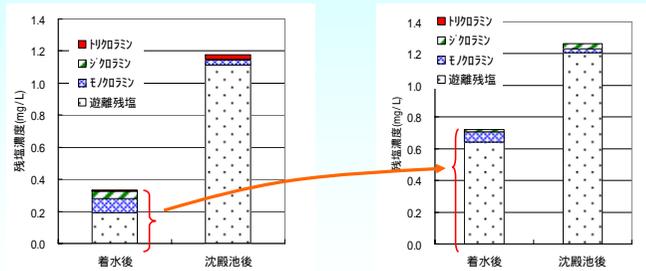
採水箇所

10

調査事例報告 (柏井浄水場)

前塩素注入後残留塩素
0.3mg/L

前塩素注入後残留塩素
0.6mg/L



11

調査事例報告 (栗山浄水場)

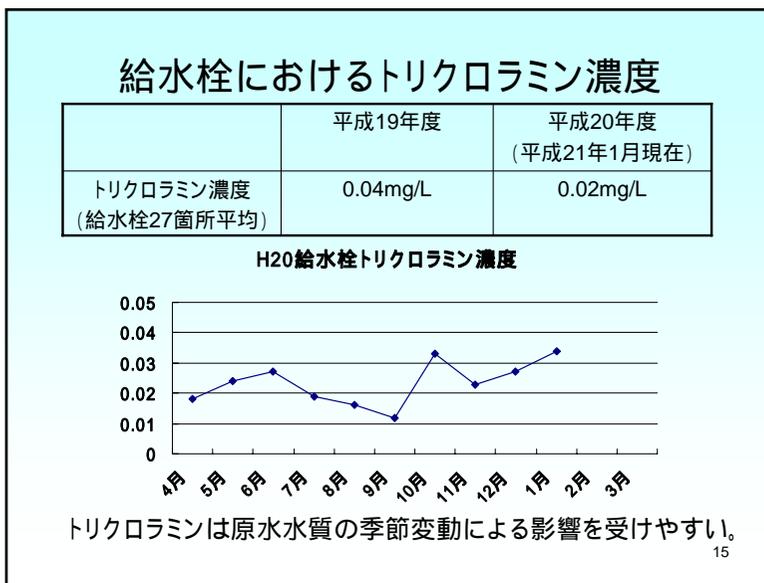
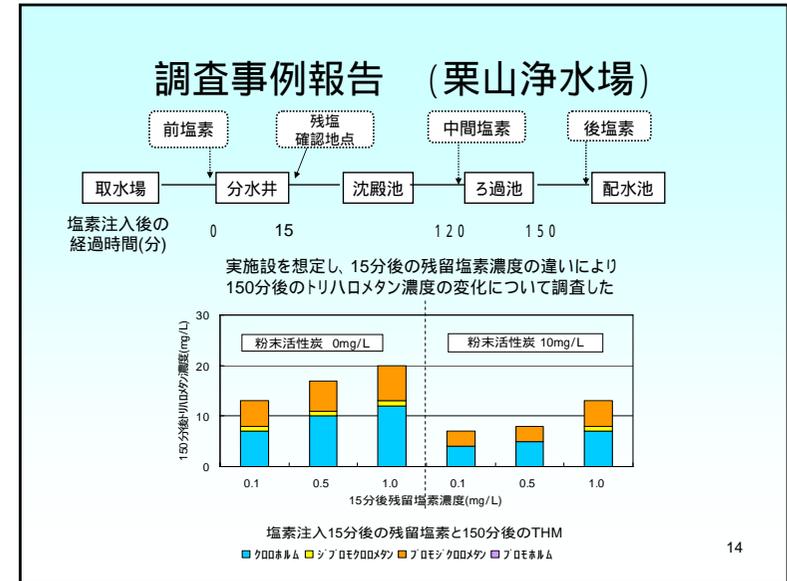
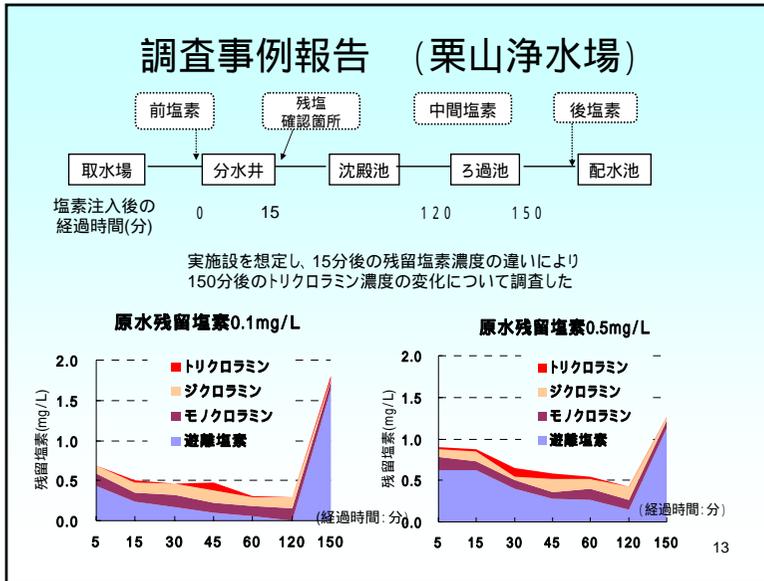
栗山浄水場の浄水処理フローと前塩素管理



遊離残塩の管理目標値
0.1mg/L 0.4~0.5mg/L

採水箇所

12



まとめ

おいしい水づくり計画の水質目標の達成状況は、ほぼ昨年同様に推移した。

各浄水場の施設配置にあわせた塩素注入の調整により、トリクロロミンの低減傾向が見られた。

給水栓のトリクロロミン濃度は、前年度より低減傾向が見られた。

トリクロロミン濃度は、季節による原水水質の変化に影響を受けやすいと考えられる。

塩素注入によるトリハロメタン等副生成物は、高水温期や高濁時等を除き、大きな変化は無かった。

今後の予定

トリクロロミンの水質目標値の設定について

浄水場での塩素注入変更等の結果、トリクロロミンの低減は見られたものの、カルキ臭の有無とトリクロロミンの関係に関しては、現在も調査中です。こういった点や現状の施設状況等を考慮し、局内調整をしながら数値目標の検討を進めたい。



17

ご静聴ありがとうございました。



18